

職員からのひと言

『龍馬イレブン』@捜査公判管理

龍馬イレブンのセンターを狙っていた事務官です。

龍馬マラソン2023における龍馬イレブンのセンターの座は、県外から出場された方が勝ち取られました。

私というもの、浦戸大橋の手前（コース全体の半分弱くらい）までしか走ることができず、そこから股関節などの下半身の痛みを必死にこらえて歩き続け、なんとか制限時間の約20分前にゴールすることができました。

正直、味わったことのない辛さでしたが、スタート地点の盛り上がり、沿道からの応援のありがたさ、高知ならではの豊富なエイド、見知らぬランナーとのドラマなどを思い出し、すでに来年も走りたいという気持ちになっています（職員の応援もすごく嬉しかったです）。

ということで、次こそはセンターを狙っていきます！



徴収担当@検務官室

私は、罰金などの徴収金と呼ばれるお金の徴収を主な業務としています。

特に刑罰に関する徴収金は、時効が3年や1年と短いため、どうやって早期に納付してもらうのかを検討し、定期的に電話をしたり、時には直接本人の家を訪ねたりして、納付が滞ることのないように工夫をしないとけません。

なので、長期の未納者から、納付があったときにはやりがいを感じられる業務だと思っています。

私は、今年度から初めて徴収事務を含めた検務事務に従事するようになりました。

分からないことも多々ありますが、上司や先輩方に質問をしたときには懇切丁寧に教えていただけるので、とても居心地の良い職場だと感じています。

また、私は、積極的に休暇を取得するようにし、休日を満喫することで、リフレッシュした状態で仕事に臨むことができます。



企画調査課@企画調査係

私は現在、主に図書に関する業務を行っています。現在の当庁の資料室はまだアナログなので、将来的に当庁の資料室を図書館のような便利なものになりたいと思っています。予算等の課題がたくさんあるので、実現するのはかなり先になるかもしれないし、そもそも実現しない可能性もありますが、今の自分にできることに全力で取り組んでいこうと思います。

話は変わりますが、実は私、育児休暇を3年取得し、5月に復帰したばかりの浦島太郎状態で、職員の名前と顔を把握しきれしていません(笑)職場復帰して1ヶ月が経とうとしているので、そろそろ把握しておきたいところですが、なかなかインプットされないところに老化を感じるこの頃です…



立会事務官@中村支部

私は、採用5年目の事務官です。今年の4月から、中村支部で立会事務官をしており、立会事務官歴は3年目となりました。

立会事務官の業務に関しては、多岐にわたり、学ぶべき事も多くありますが、それ故にやりがいを感じながら、日々勤務しています。

初めての四万十市での生活ということで、美味しい食べ物を食べたり、観光したりなど全力で楽しみます。

社会復帰支援@捜査公判

私は、罪を犯した人がまた社会に戻ることができるように支援をする仕事をしています。

罪を犯した理由は、それぞれ違いますが、その理由をしっかりと理解し、また罪を犯さないように様々な手助けをしています。

他機関の人と知り合う機会が多く、コミュニケーション能力も重要となる部署であることもあり、楽しさとやりがいを感じています。

プライベートの時間もしっかりと確保できるので、趣味の食べ歩きや筋トレなどジムでの運動をしたりしながら、公私ともに充実した生活を送っています。

